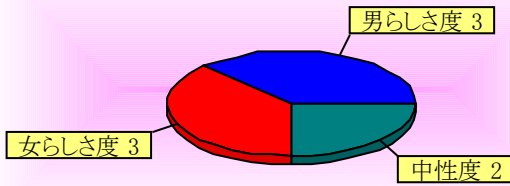


ホロスコープが語るパーソナリティ分析図・・・星は表面意識を表し、星座は潜在意識をつかさどります。

## 表面意識(星)

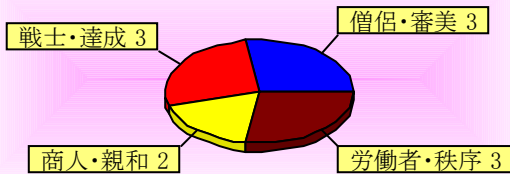
星は、人の表面意識に具体的に作用を与えます。星のアスペクトが多いほど作用は強く、星のアスペクトが弱いほど作用は弱い。

星が語る 男らしさ 女らしさ 中性度



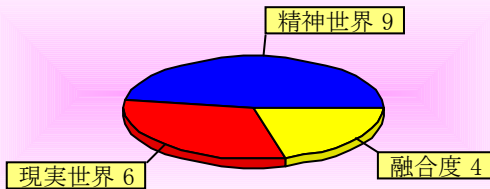
- ・男らしさの生命力と闘争心は、太陽と火星がつかさどります。→強引にものごとを進めていくパワーがあります。
- ・女らしさのおだやかさと愛情は、月と金星がつかさどります。→争いよりも和と楽を好みますが、感情に流されやすい。
- ・中性の会話・交流と社会生活は、水星と木星がつかさどります。→周囲とのバランスをとりながら、無理なく発展していきます。

星が語る 僧侶 戦士 商人 労働者 度



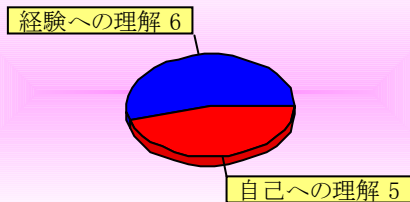
- ・僧侶とは、審美善を追及→木星と金星がつかさどります。→利益よりも倫理観にもとづいて、行動していきます。
- ・戦士とは、達成感を追及→太陽と火星がつかさどります。→目標達成のためには手段を選ばない戦士です。
- ・商人とは、人との親和を追及→月と水星がつかさどります。→この人から商品を買うのなら、高い安いは関係ない。
- ・労働者とは、秩序に支配され束縛→土星がつかさどります。→上司に命令され、規則に縛られながら仕事をしていきます。

星が語る 精神世界 現実世界 融合度



- ・幻想的な精神世界は、天王星・海王星・冥王星がつかさどります。→目の前の現実を無視して、理想だけを追いかける心理。
- ・戦い社会困難の現実世界は、火星・木星・土星がつかさどります。→理想や未来は、現実の積み重ねでしか達成できないという心理。
- ・水星の知と金星・月の愛情は精神と現実の両方をつかさどります。→人との和合なくしては、発展もありえないというバランス感覚。

星が語る 自己への理解 経験への理解

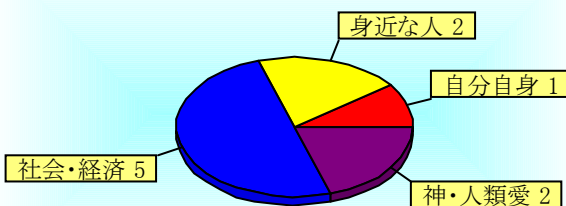


- ・自己意識への理解は、太陽・月・水星・金星がつかさどります。→周囲への理解よりも、自分がどうしたいかが優先する。
- ・他人と経験への理解は、火星・木星・土星がつかさどります。→周囲への理解をした上で、自分がどうしたいかを決定する。

## 潜在意識(星座)

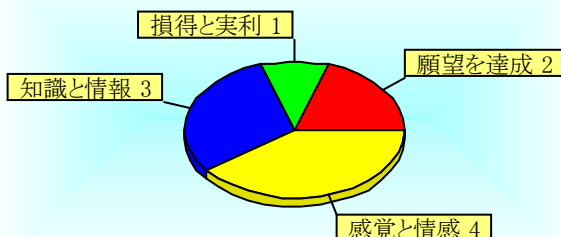
星座は、人の潜在意識に長期間にわたって心理的作用を与えます。星が多く入っている星座の作用は強く、星が入っていない星座の作用は弱い。

星座が語る 潜在意識での興味の領域



- ・自分自身への関心が深く、自分の本質を追い求めたい潜在意識。→おひつじ座、おうし座、ふたご座がつかさどります。
- ・身近な人など狭い社会での交際を重視したい潜在意識。→かに座、しし座、おとめ座がつかさどります。
- ・社会の中で自分がどう関わっていくかを重視したい潜在意識。→てんびん座、さそり座、いて座がつかさどります。
- ・神が自分に与えた目的や人類愛を追い求めたい潜在意識。→やぎ座、みずがめ座、うお座がつかさどります。

星座が語る 潜在意識での価値観



- ・願望を達成することができるかどうかを重視する潜在意識。→おひつじ座、しし座、いて座の『火』の星座がつかさどります。
- ・損得で物事を考え実務的に安全かどうかを重視する潜在意識。→おうし座、おとめ座、やぎ座の『地』の星座がつかさどります。
- ・知識欲と情報欲がそそられるかどうかを重視する潜在意識。→双子座、天秤座、みずがめ座の『風』の星座がつかさどります。
- ・感覚と情感でピンとくるかどうかを重視する潜在意識。→うお座、さそり座、かに座の『水』の星座がつかさどります。